

1.評価軸別の評価

大変優れている(5点) 優れている(4点) 普通(3点) やや劣っている(2点) 劣っている(1点)

	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(1) 環境保健対策の推進への貢献度	0人	3人	3人	0人	0人	3.5
(2) 研究成果目標の達成度	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
(3) 研究計画の妥当性	0人	3人	3人	0人	0人	3.5
(4) 研究内容の独自性	0人	0人	5人	1人	0人	2.8
(5) 社会・経済に対する貢献度	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
個別評価平均						3.3

2.総合評価

(1)評価基準に沿った評価	0人	2人	4人	0人	0人	3.3
(2)記述評価						
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査、検診の域を出ておらず、新たな知見に乏しい。 ・修了者の活用に具体的数値がなく、よくわからない。 ・呼吸リハビリテーションとCOPDの認知度向上を主要評価項目としてあげている点で科学研究としては不十分である。指導者養成研修修了生の活動特性が明らかになっていない。 ・同様の取り組みを全国展開させる方策も含めて、活動頂きたい。 ・肺年齢測定会の経験と呼吸リハビリの認知がCOPD認知度を高めることが、示された。地区による差の分析と対策も希望する。 ・COPD啓発活動への努力は評価できるが、これからの普及・展開が課題となる。 ・肺年齢測定会の活動は実績を上げているが、そこでの調査結果が効果的な教育方法の開発などの成果に必ずしも結びついていない。 						